

岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2011 年 第 47 週 (11/21 ~ 11/27) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 44 週 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (60 代 男)
 第 45 週 2 類感染症 結核 2 名 (50 代 女 1 名、70 代 男 1 名)
 4 類感染症 レジオネラ症 4 名 (70 代 男 2 名・女 1 名、90 代 女 1 名)
 第 46 週 2 類感染症 結核 4 名 (20 代 女 1 名、30 代 男 1 名、70 代 男 2 名)
 4 類感染症 レジオネラ症 2 名 (50 代 男 1 名、60 代 男 1 名)
 の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

- 感染性胃腸炎は、岡山市・倉敷市で患者数が増加し、美作地域・備前地域ではひきつづき患者数が多い状態です。
 ○インフルエンザは、全県で 58 名の報告があり、備中地域、倉敷市で患者数が増加しました。
 ○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、患者数が増加しました。
 ○RS ウイルス感染症は、再び患者数が増加し、過去最も多い状態がつづいています。
 ○流行性耳下腺炎は、備中地域で感染症発生レベル 2 が継続しています。
 ○手足口病は、減少しましたが、この時期としては患者数が多い状態です。
 ○マイコプラズマ肺炎は、前週より減少しました。

【速報】11 月 28 日 インフルエンザとみられる学級閉鎖が倉敷市で 2 校ありました。

11 月 30 日 インフルエンザとみられる学年閉鎖が浅口市で 1 校ありました。

12 月 1 日 感染性胃腸炎による学級閉鎖が岡山市で 2 校・総社市で 1 校ありました。

1. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、全県では増加しました (定点あたり 5.43 → 6.37 人)。患者数は岡山市 (3.93 → 5.71 人)、倉敷市 (4.18 → 7.82 人) で増加し、美作地域 (8.50 人)、備前地域 (6.40 人) ではひきつづき多い状態です。冬は、ノロウイルスやロタウイルスによる感染性胃腸炎の発生が多く、乳幼児から高齢者まで患者の増加がみられます。手洗いを励行するなど感染予防に心がけましょう。
2. **インフルエンザ**は、全県で 58 名 (定点あたり 0.69 人) の報告がありました。備前地域を除く県内全域で患者報告があり、患者が増加した備中地域 (2.42 人)、倉敷市 (1.50 人) では第 48 週に学校の臨時休業が報告されています。詳しい県内の発生状況は『**インフルエンザ情報**』をご覧ください。
 全国集計第 46 週速報値 (11/14 ~ 20) によると、全国では定点あたり 0.21 人、第 42 週以降患者増加がつづいています。今シーズン (2011/9/5 ~) 第 46 週現在、全国で検出されたインフルエンザウイルスは AH3 型が 72 件、B 型が 19 件、AH1 pdm09 型が 2 件報告されています。 ([国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012 シーズン](#))
3. **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点あたり患者数は、増加しました (定点あたり 0.57 → 0.78 人)。細菌による上気道炎で、冬に患者が増加することもあります。突然の発熱と体のだるさ・咽頭痛によって発症し、学童期の小児に多く見られます。肺炎や髄膜炎などさまざまな合併症や二次疾患を起こすことがあり、注意が必要です。患者との濃厚接触を避け、手洗い・うがいを行うことで予防できます。
4. **RSウイルス感染症**の定点あたり患者数は、再び増加し (定点あたり 0.59 → 0.85 人)、過去最も多い状態がつづいています。県内では、1 歳以下の乳幼児が 70% を占めており、乳幼児では重症化することもありますので注意が必要です。
5. **流行性耳下腺炎**の定点あたり患者数は、わずかに減少しましたが (定点あたり 1.17 → 1.07 人)、備中地域では、前週から感染症発生レベル 2 が継続しています (3.43 人)。
6. **手足口病**の定点あたり患者数は、2 週つづけて減少しましたが (定点あたり 2.06 → 1.54 人)、ひきつづきこの時期としては多い状態です。
7. **マイコプラズマ肺炎**は、前週より減少しました (基幹定点 5 医療機関あたり 2.40 → 1.00 人)。岡山市 (3 人)、倉敷市 (1 人)、備北地域 (1 人) で患者報告がありました。
8. **腸管出血性大腸菌感染症**は、今年はいくまでにも 64 名の発生がありました。発生は減少していますが、ひきつづき注意が必要です。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎		★	流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移： 2倍以上の減少 1.1~2倍未満の減少 1.1未満の増減

1.1~2倍未満の増加 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

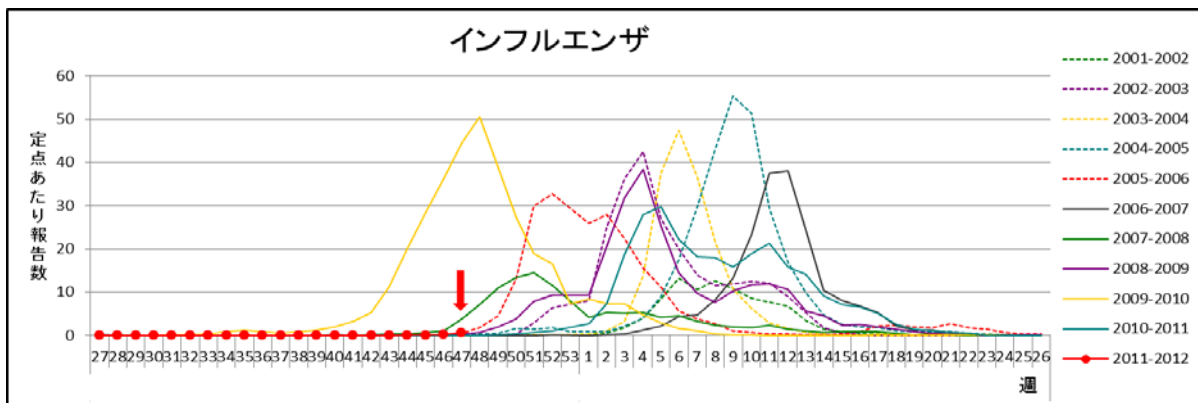
※定点当り患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています。

インフルエンザ情報 第 47 週 2011 年 11 月 21 日 ~ 11 月 27 日

➤ 岡山県の流行状況

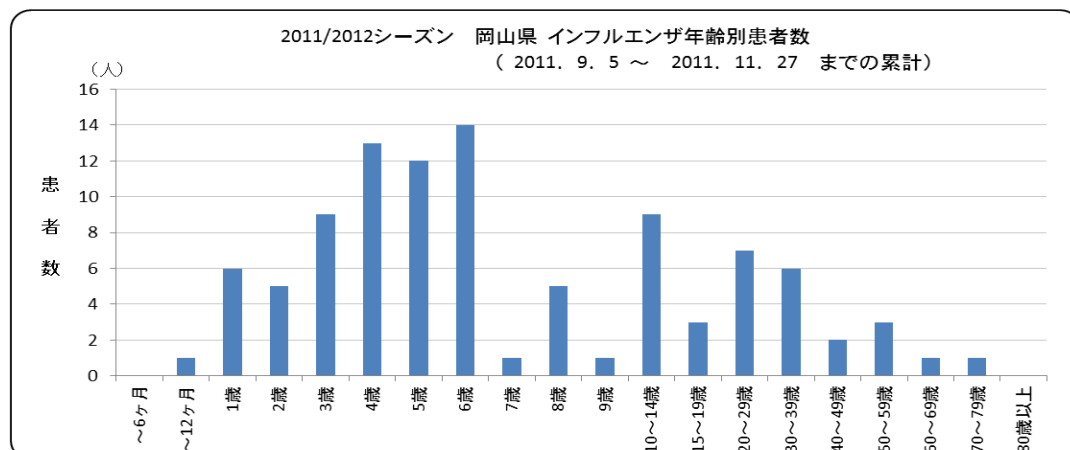
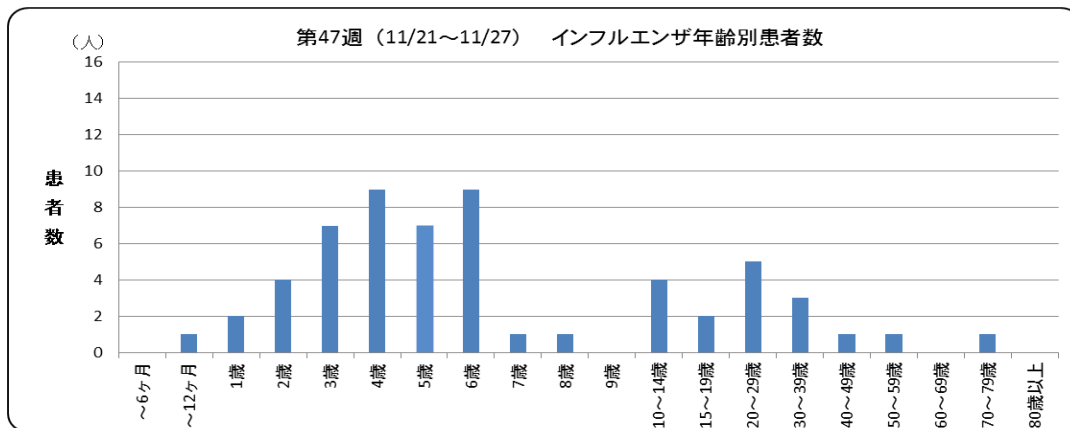
- 岡山県内の患者報告数は 58 名、定点あたり 0.69 人（定点医療機関 84 定点）に増えました。
- 患者報告は備前地域を除く県内全域に渡っており、特に備中地域、倉敷市で増加がみられます。
- 【速報】11 月 28 日（第 48 週） インフルエンザとみられる学級閉鎖が倉敷市で 2 校ありました。
11 月 30 日（第 48 週） インフルエンザとみられる学年閉鎖が浅口市で 1 校ありました。
- インフルエンザは患者数が増え、徐々に県内全域に広がりを見せています。学校での臨時休業も発生していますので、手洗い・うがいを励行し感染予防を心がけましょう。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は、備中地域 29 名、倉敷市 24 名、岡山市 2 名、備北、真庭、美作地域で各 1 名の報告がありました（84 定点医療機関定点あたり 0.69 人）。備中地域（定点あたり 0.50 → 2.42 人）、倉敷市（同 0.56 → 1.50 人）で患者が増加しています。備前地域を除く県内全域で報告があり、インフルエンザは徐々に広がりを見せています。第 47 週、学校の臨時休業等や、入院患者の報告はありませんでした。

➤ 年齢別患者発生状況 第 47 週（11/21~11/27）

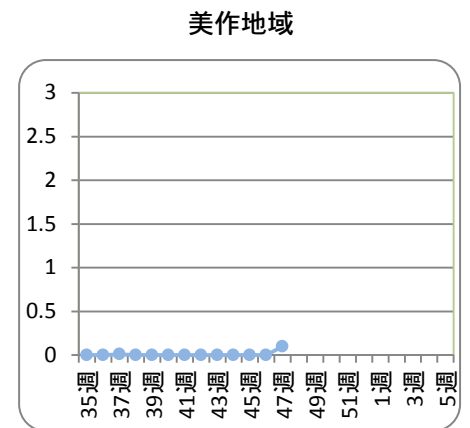
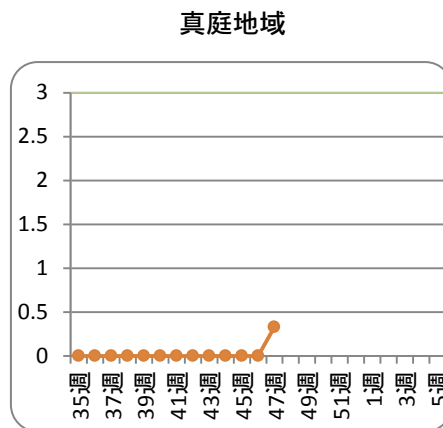
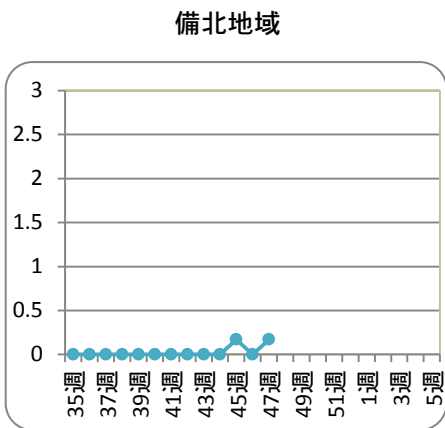
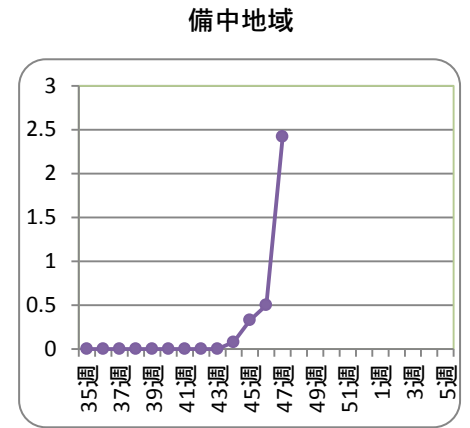
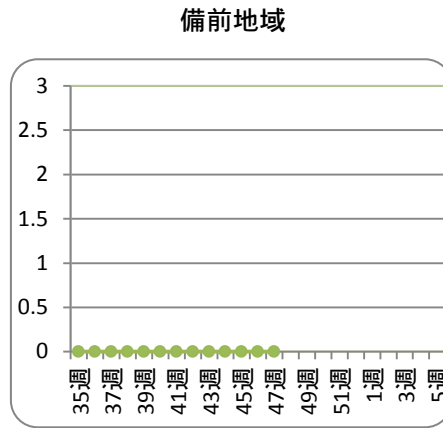
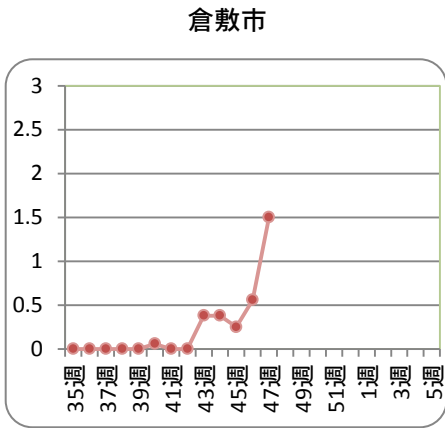
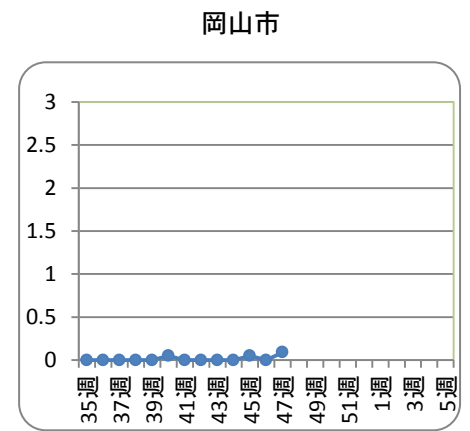
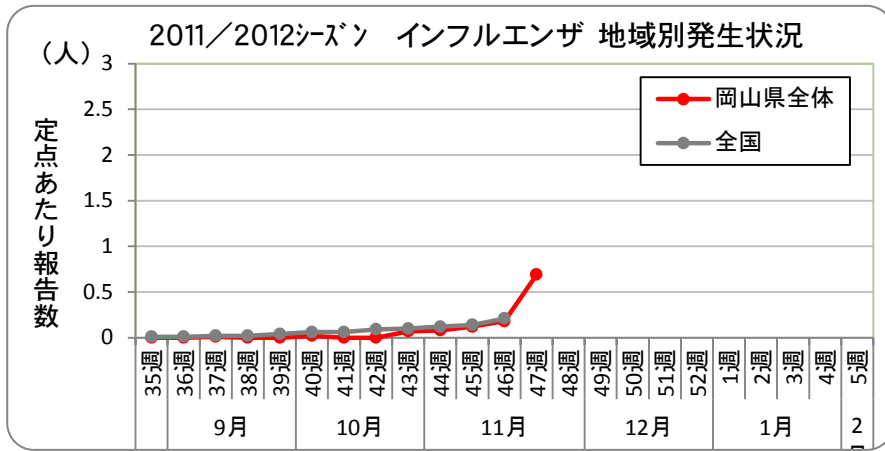


➤ 地域別発生状況

第47週(11/21~11/27) 前週からの推移(単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	58	↑	備中	患者数	29	↑
	定点あたり	0.69			定点あたり	2.42	
岡山市	患者数	2	↑	備北	患者数	1	↑
	定点あたり	0.09			定点あたり	0.17	
倉敷市	患者数	24	↑	真庭	患者数	1	↑
	定点あたり	1.50			定点あたり	0.33	
備前	患者数	0	-	美作	患者数	1	↑
	定点あたり	0.00			定点あたり	0.10	

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1~2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

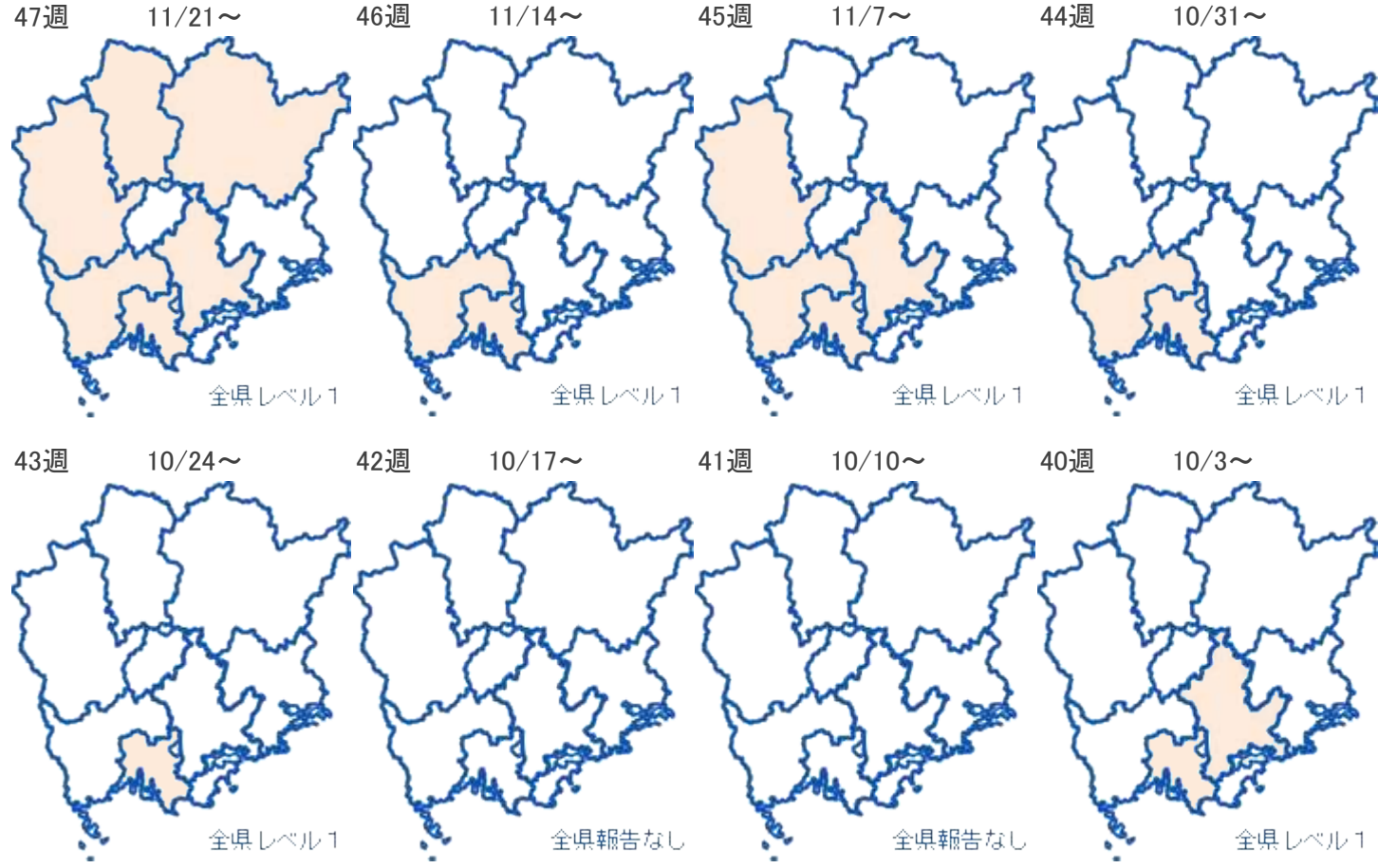




岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2011年 47週

2011年11月30日

10:39:43



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

保健所別報告患者数 2011年 47週 (2011/11/21~2011/11/27)

2011年11月30日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	58	0.69	2	0.09	24	1.50	-	-	29	2.42	1	0.17	1	0.33	1	0.10
RSウイルス感染症	46	0.85	21	1.50	16	1.45	-	-	8	1.14	-	-	-	-	1	0.17
咽頭結膜熱	6	0.11	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	0.78	10	0.71	17	1.55	-	-	8	1.14	3	0.75	2	1.00	2	0.33
感染性胃腸炎	344	6.37	80	5.71	86	7.82	64	6.40	42	6.00	16	4.00	5	2.50	51	8.50
水痘	46	0.85	13	0.93	19	1.73	5	0.50	8	1.14	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	83	1.54	22	1.57	29	2.64	9	0.90	7	1.00	6	1.50	-	-	10	1.67
伝染性紅斑	13	0.24	3	0.21	4	0.36	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	0.83
突発性発疹	18	0.33	8	0.57	3	0.27	1	0.10	2	0.29	1	0.25	1	0.50	2	0.33
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	58	1.07	20	1.43	7	0.64	4	0.40	24	3.43	1	0.25	1	0.50	1	0.17
急性出血性結膜炎	1	0.08	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	1.00	3	3.00	1	1.00	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 47週 (2011/11/21~2011/11/27)

2011年11月30日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	58	0.69	2	0.09	24	1.50	-	-	29	2.42	1	0.17	1	0.33	1	0.10
咽頭結膜熱	6	0.11	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	0.78	10	0.71	17	1.55	-	-	8	1.14	3	0.75	2	1.00	2	0.33
感染性胃腸炎	344	6.37	80	5.71	86	7.82	64	6.40	42	6.00	16	4.00	5	2.50	51	8.50
水痘	46	0.85	13	0.93	19	1.73	5	0.50	8	1.14	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	83	1.54	22	1.57	29	2.64	9	0.90	7	1.00	6	1.50	-	-	10	1.67
伝染性紅斑	13	0.24	3	0.21	4	0.36	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	0.83
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	58	1.07	20	1.43	7	0.64	4	0.40	24	3.43	1	0.25	1	0.50	1	0.17
急性出血性結膜炎	1	0.08	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第47週 2011/11/21~2011/11/27)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	58	-	1	2	4	7	9	7	9	1	1	-	4	2	5	3	1	1	-	1	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	46	5	14	13	5	5	3	-	1	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	-	1	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	-	-	1	1	1	4	7	6	6	6	1	7	-	2
感染性胃腸炎	344	6	18	30	36	28	27	44	23	23	15	19	27	10	38
水痘	46	2	5	9	5	7	7	3	2	1	2	1	2	-	-
手足口病	83	-	2	22	20	14	14	5	1	2	-	-	2	-	1
伝染性紅斑	13	-	-	-	2	2	3	2	2	1	1	-	-	-	-
突発性発疹	18	2	6	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	58	-	-	2	4	3	5	18	12	3	2	1	6	-	2

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

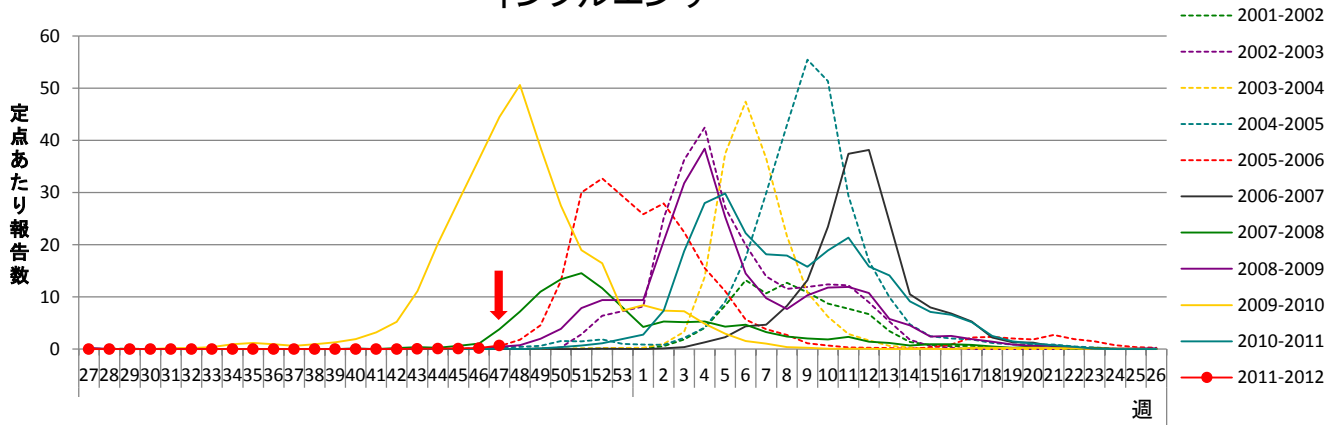
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

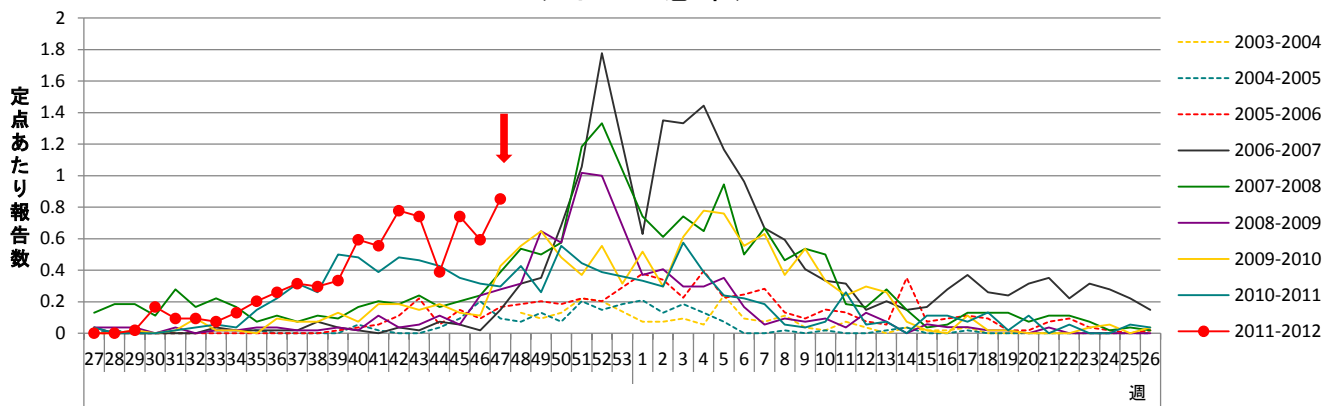
2011年 47週

分類	疾病名	2011			疾病名	2011			疾病名	2011		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	462	352	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	64	66
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	3	2
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	1	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	3	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	1	-
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	28	19	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	10	13	ウイルス性肝炎*3	-	8	7	急性脳炎*4	-	3
クリプトスポリジウム症		-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	2	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	1
後天性免疫不全症候群		-	13	22	ジアルジア症	-	2	5	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
先天性風しん症候群		-	-	-	梅毒	-	9	9	破傷風	-	2	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	風しん	-	1	2
麻しん		-	4	3		-	-	-		-	-	-

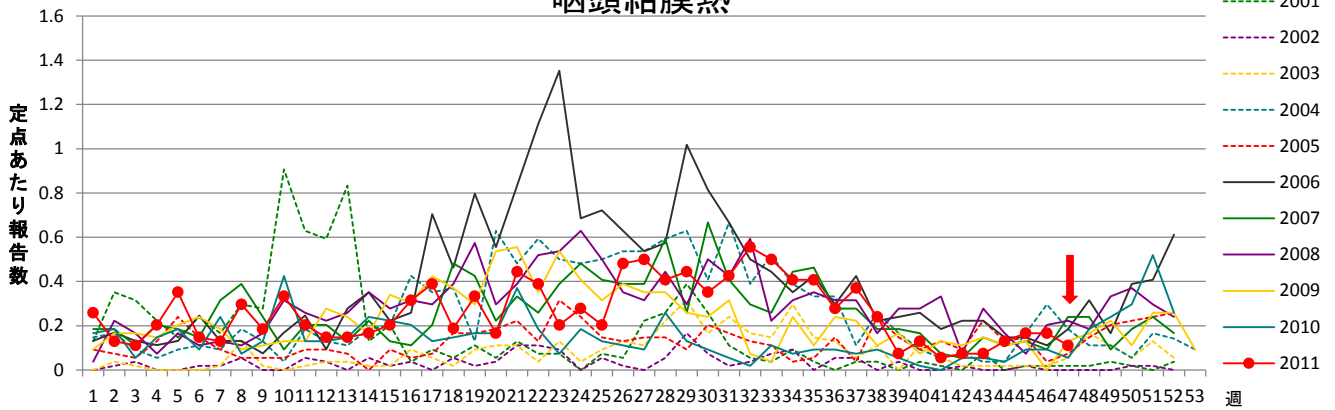
インフルエンザ



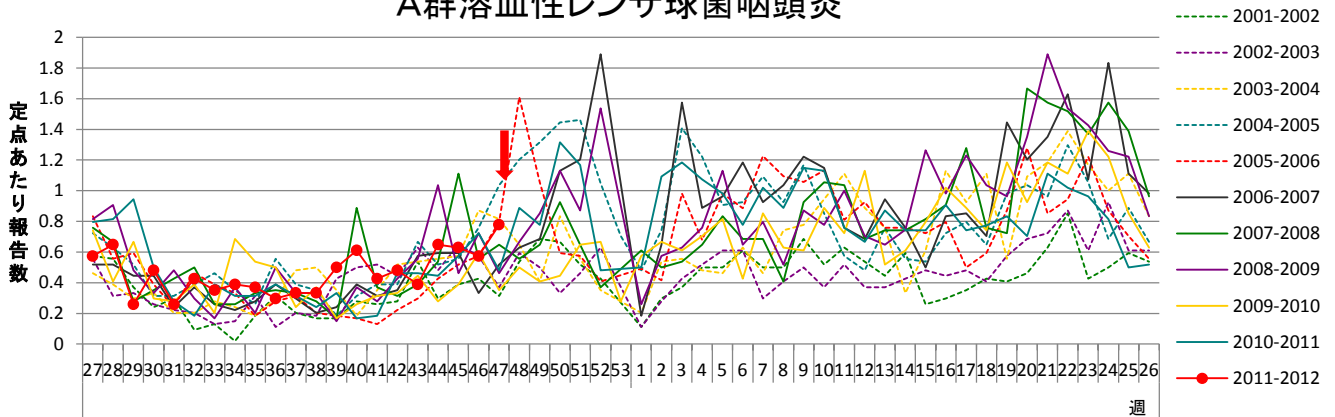
RSウイルス感染症



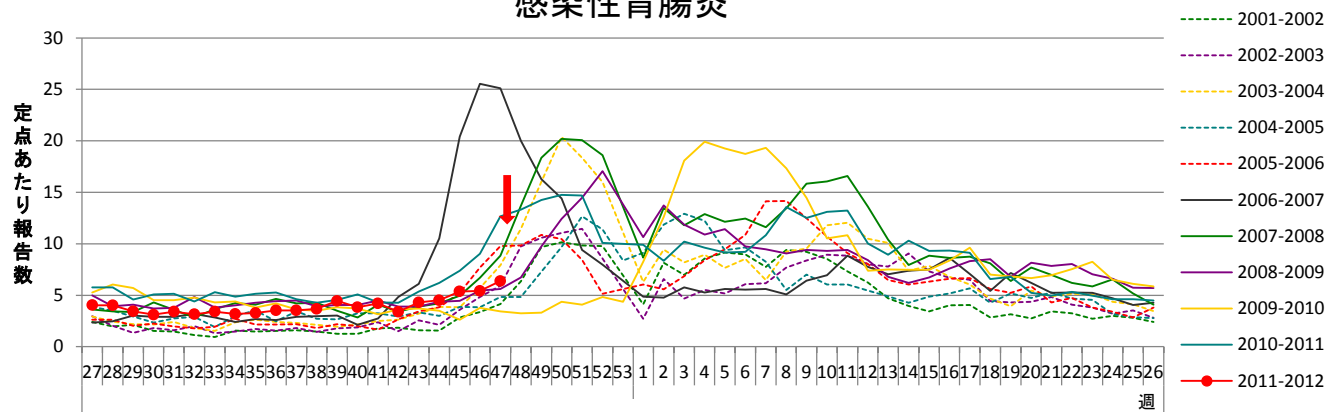
咽頭結膜熱



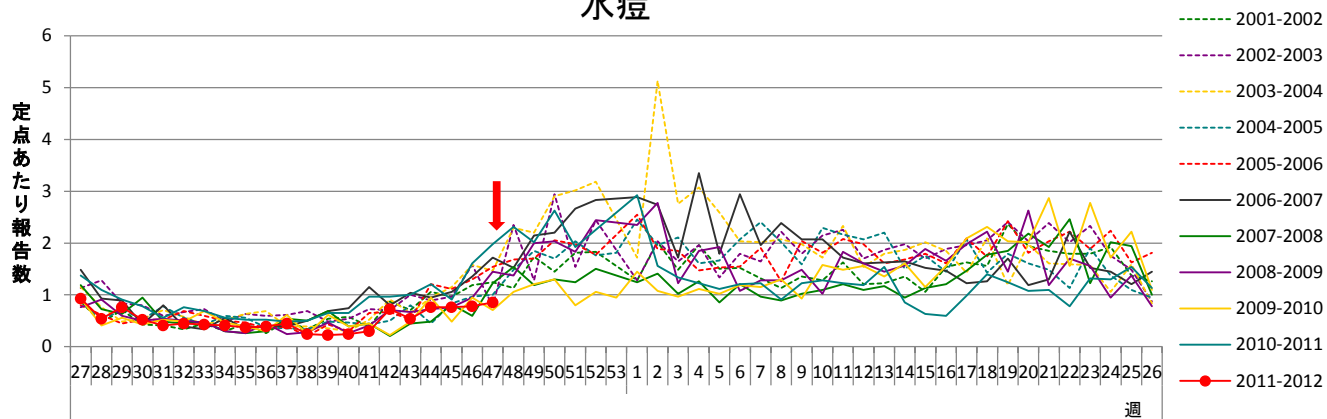
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



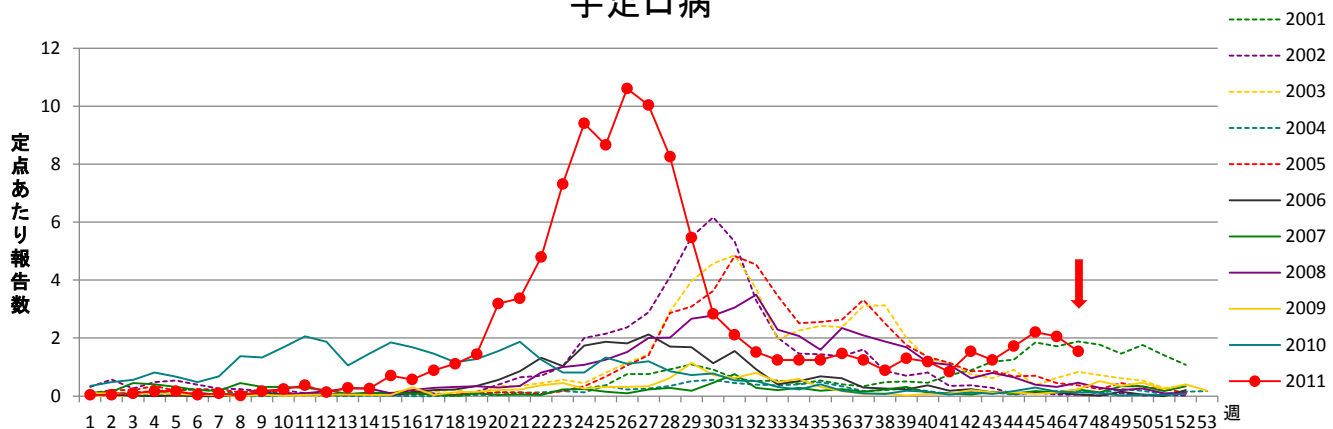
感染性胃腸炎



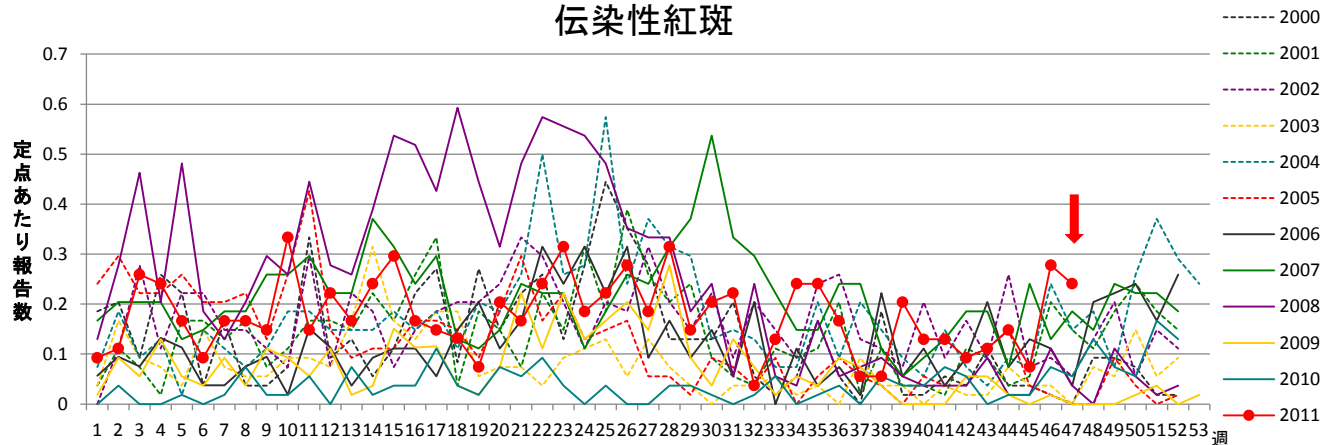
水痘



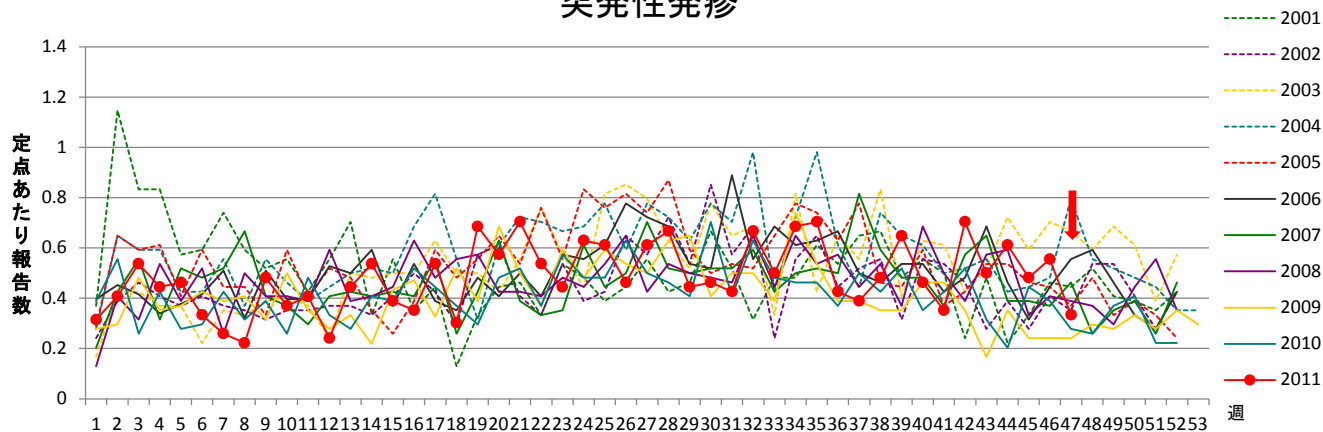
手足口病



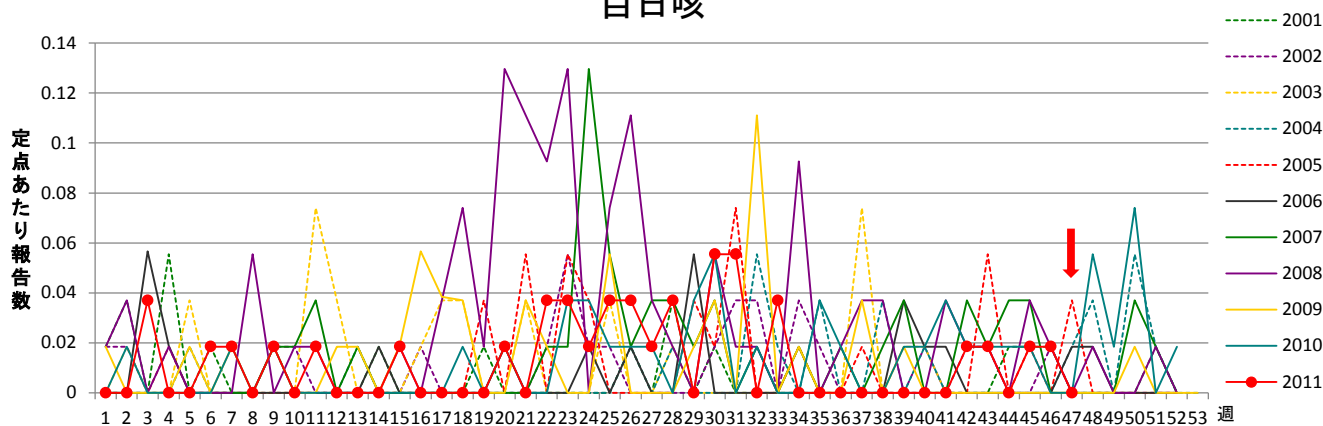
伝染性紅斑



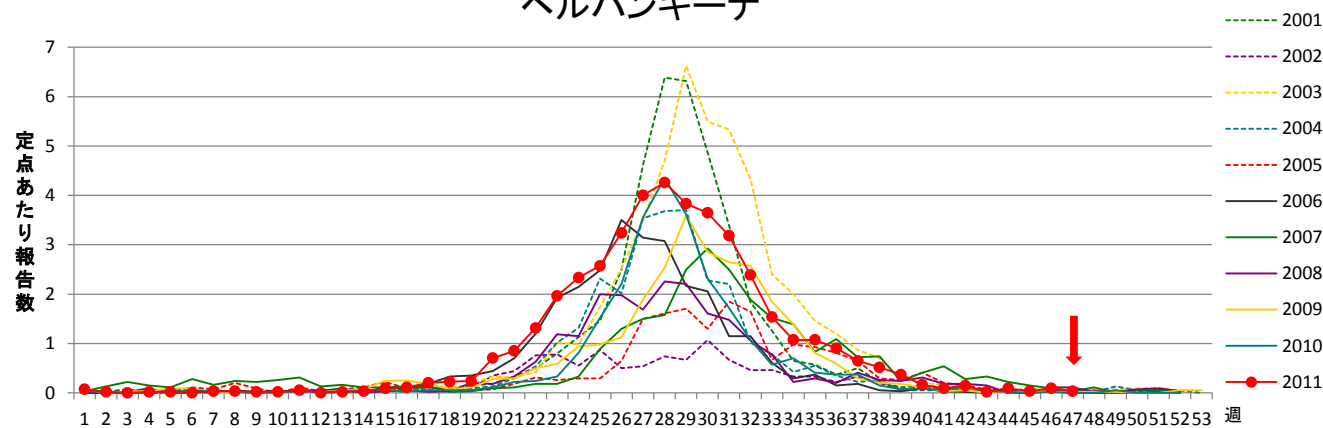
突発性発疹



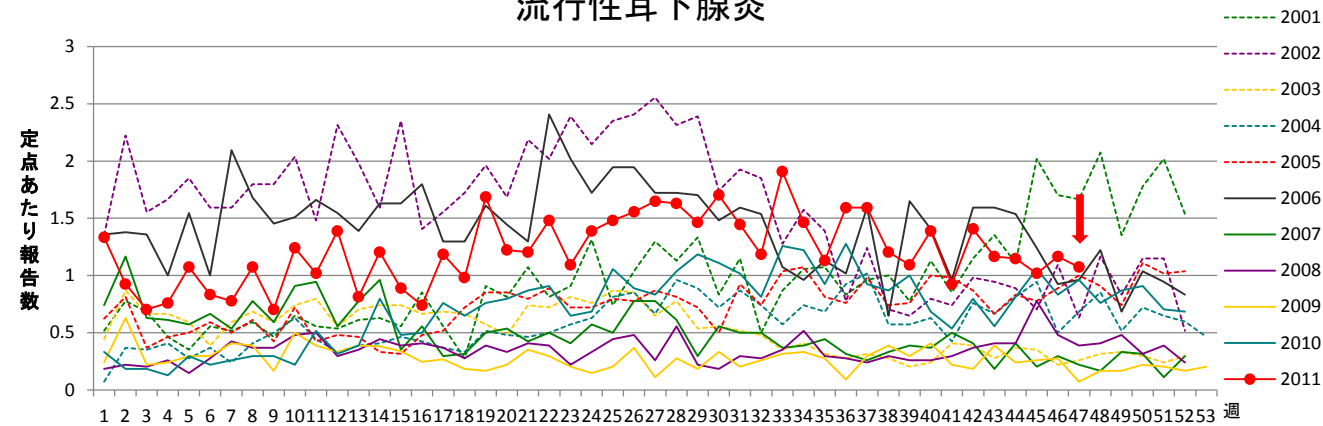
百日咳



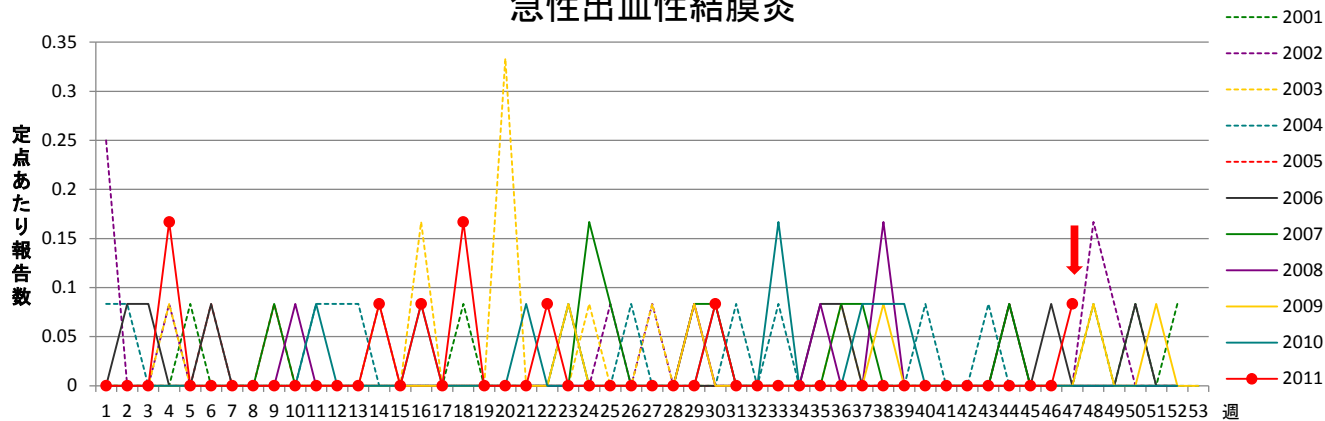
ヘルパンギーナ



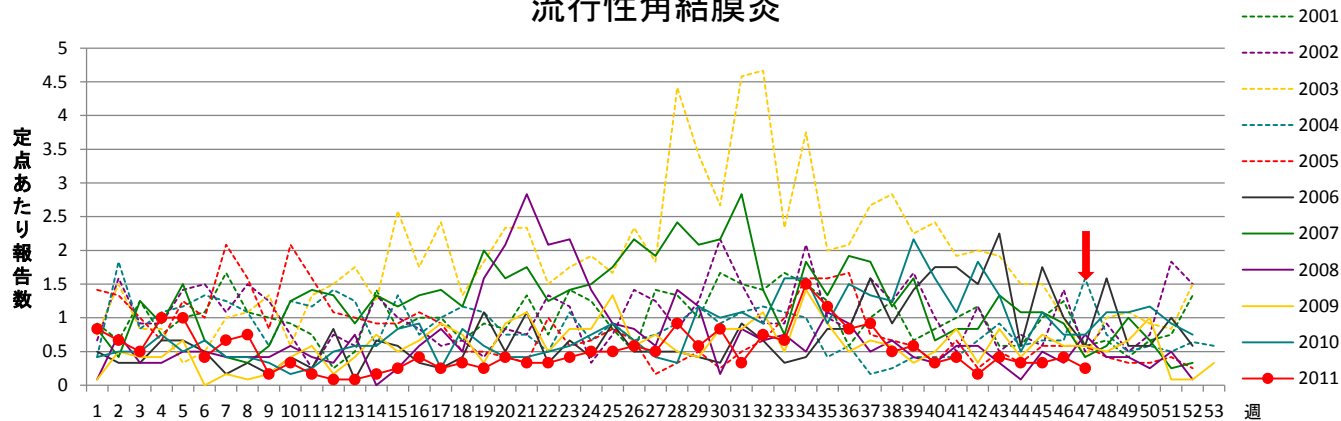
流行性耳下腺炎



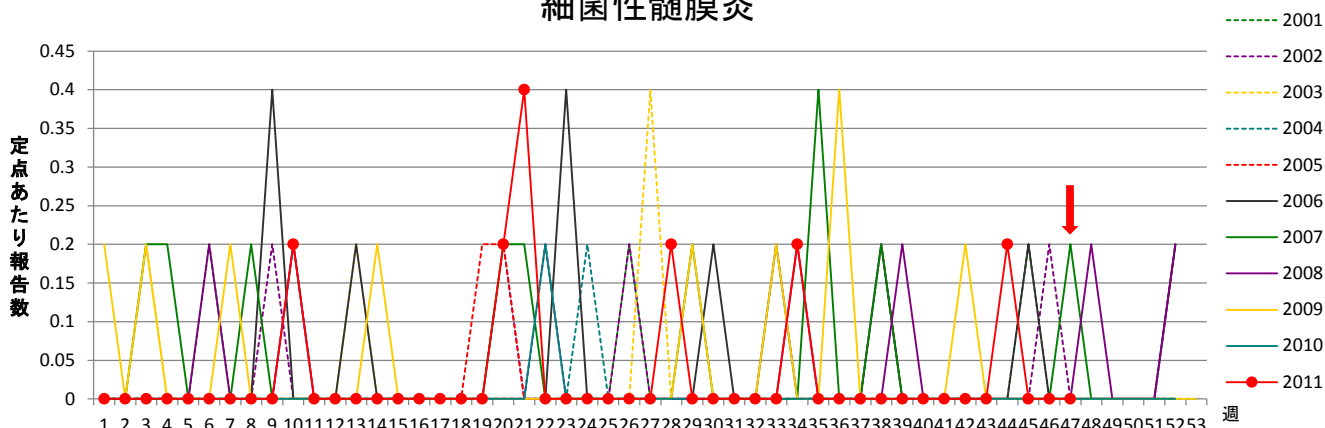
急性出血性結膜炎



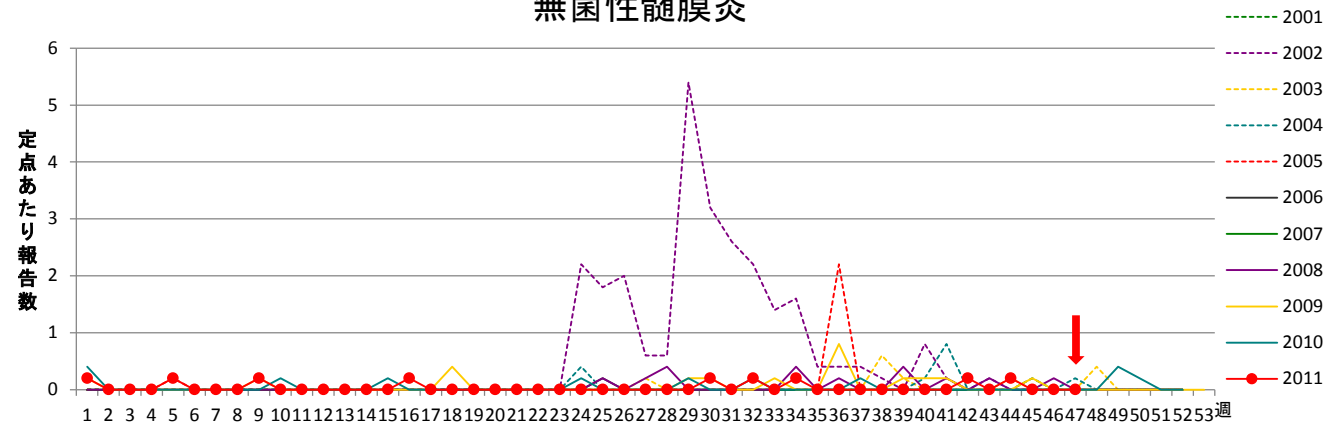
流行性角結膜炎



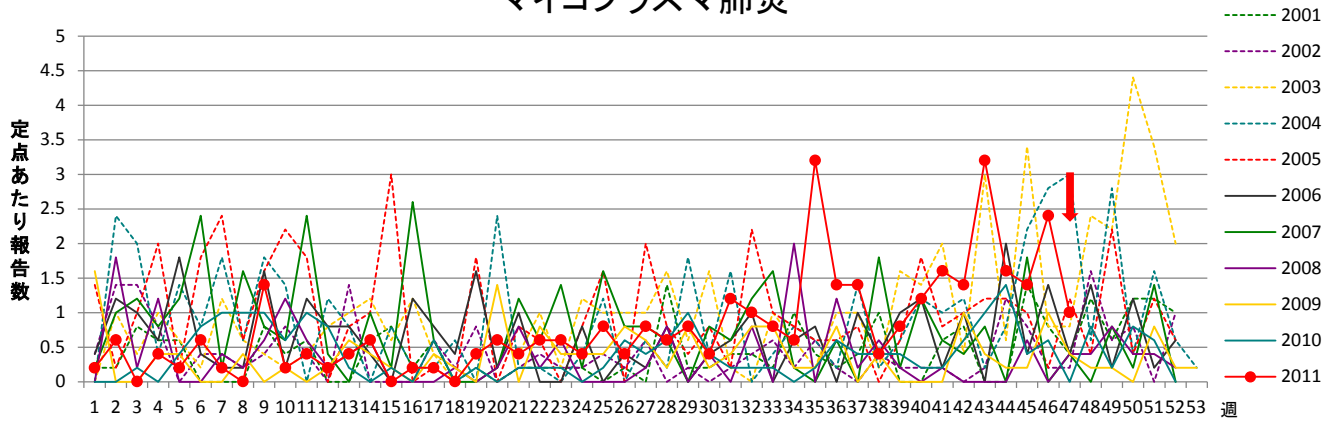
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

